

# HTLV-1母子感染予防対策について

## HTLV-1母子感染予防対策全国研修会

平成23年3月

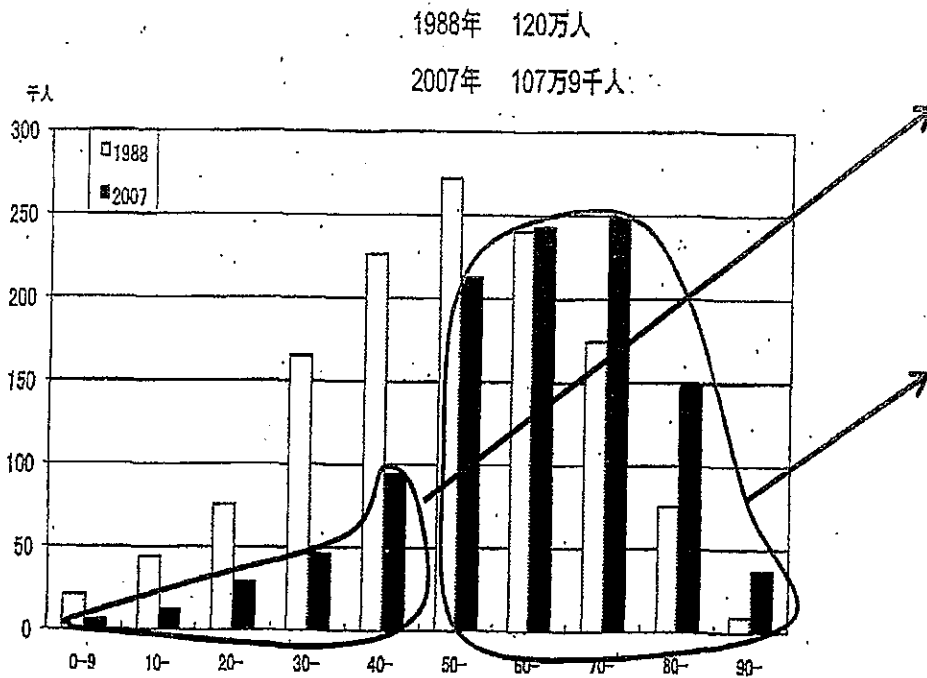
厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

### HTLV-1感染症について

- 感染者数は、約108万人程度と推定。ほとんどは無症候性キャリア。西日本に多い。女性に多い。高齢者に多い。
- 感染経路は、母子感染が約6割以上を占めるほか、2割程度が性感染によるとの報告がある。
  - ① 母子感染（キャリアの母親から子どもへの感染率：長期母乳（6カ月以上）で約20%、断乳（人工乳）した場合、約3～6%に低下）
  - ② 性感染（主にキャリア男性から女性に、結婚後2年で20%程度の確率で感染するとされる）
  - ③ 血液感染（1986年から献血時の抗体検査導入、現在は無い）
- 白血病（ATL）をおこす。  
年間発症者数（推計）は、約1,100人  
化学療法や骨髄移植等の治療法があるが、  
発症後1年以内に死亡する患者が多く、5年生存率は極めて悪い。
- 神経障害（HAM）をおこす。  
患者数は、約1,400人  
脊髄が障害され、歩行障害、排尿障害等を引き起こす慢性の進行性の難治性疾患。  
治療は、外来中心の場合は対症療法やリハビリテーションを行い、神経症状が悪化した場合には、入院によるステロイドパルス療法やインターフェロンの療法などを行う。

※ HTLV-1 (Human T-cell Leukemia Virus type 1) : ヒトT細胞白血病ウイルス1型  
ATL (Adult T-cell Leukemia) : 成人T細胞白血病  
HAM (HTLV-1 associated myelopathy) : HTLV-1関連脊髄症

# 推定されるキャリアの年齢別分布の推移



若年キャリア(50歳未満)  
減少

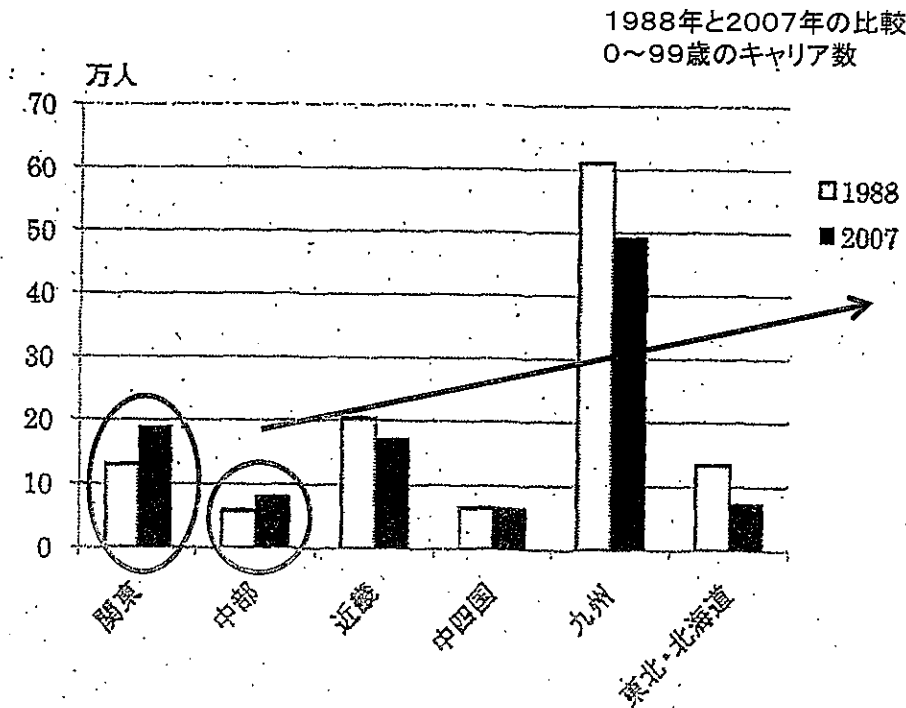
母子感染の予防  
性感染の予防

高齢キャリア(50歳以上)

ATL対策  
HAM対策  
(新たな感染のリスクは極めて少ない)

出典:平成21年度山口班研究報告書

# 推定されるキャリアの地域別分布の推移



関東、中部で増加

関東、中部でも若年者の  
抗体陽性率は低下

キャリア数の増加は人口の  
移動か?

出典:平成21年度山口班研究報告書

# 妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査

## 1. 目的

妊婦に対してHTLV-1母子感染に関する正しい知識を普及させるとともに、妊婦が自身のHTLV-1感染の状況を認識し、必要に応じて事後の保健指導を受け、HTLV-1の母乳を介した感染の危険を提言することにより、母子感染の防止を図る。

## 2. 実施時期

妊娠30週頃まで。妊娠30週を超えて、初めて妊婦健康診査を受診する等の事情がある場合はこの限りでない。

## 3. 妊婦健康診査における実施方法

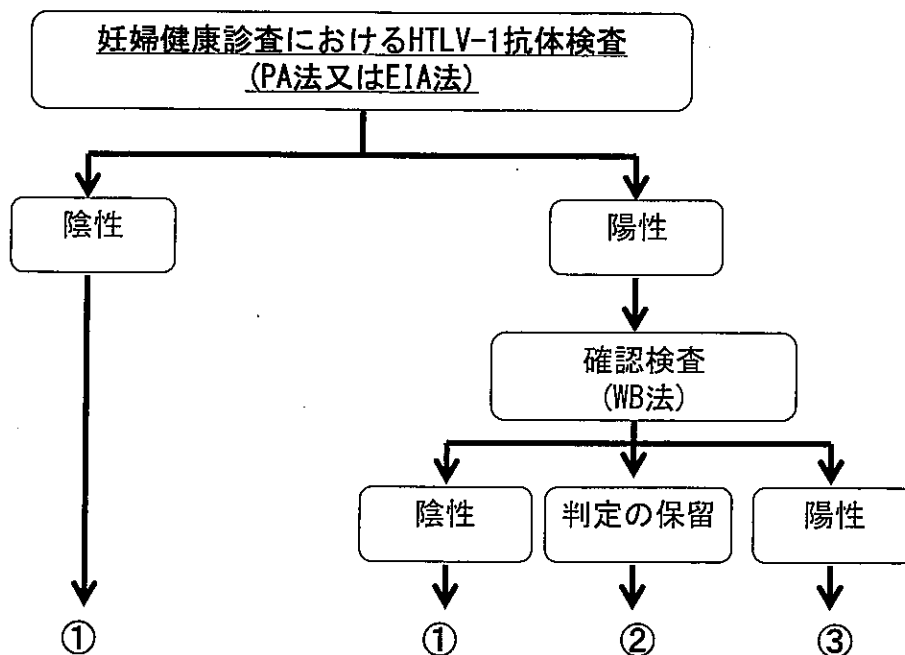
粒子凝集法(PA法)又は酵素免疫測定法(EIA法)のどちらか一方で行う。

## 4. 留意事項

- ・HTLV-1抗体検査結果が陽性の場合、その結果のみからHTLV-1に感染しているとは判断できず、ウエスタンブロット法(WB法)による精密検査が必要。
- ・「ヒト白血病ウイルス-1型(HTLV-1)母子感染に関する情報の提供について」(母子保健課長通知、平成22年6月)、「HTLV-1母子感染保健指導マニュアル」(平成6年3月)等を必要に応じて参考にする。

## HTLV-1抗体検査の進め方

「妊婦健康診査におけるヒト白血病ウイルス-1型(HTLV-1)抗体検査の実施について」(母子保健課長通知、雇児母発1101第1号、平成22年11月1日)



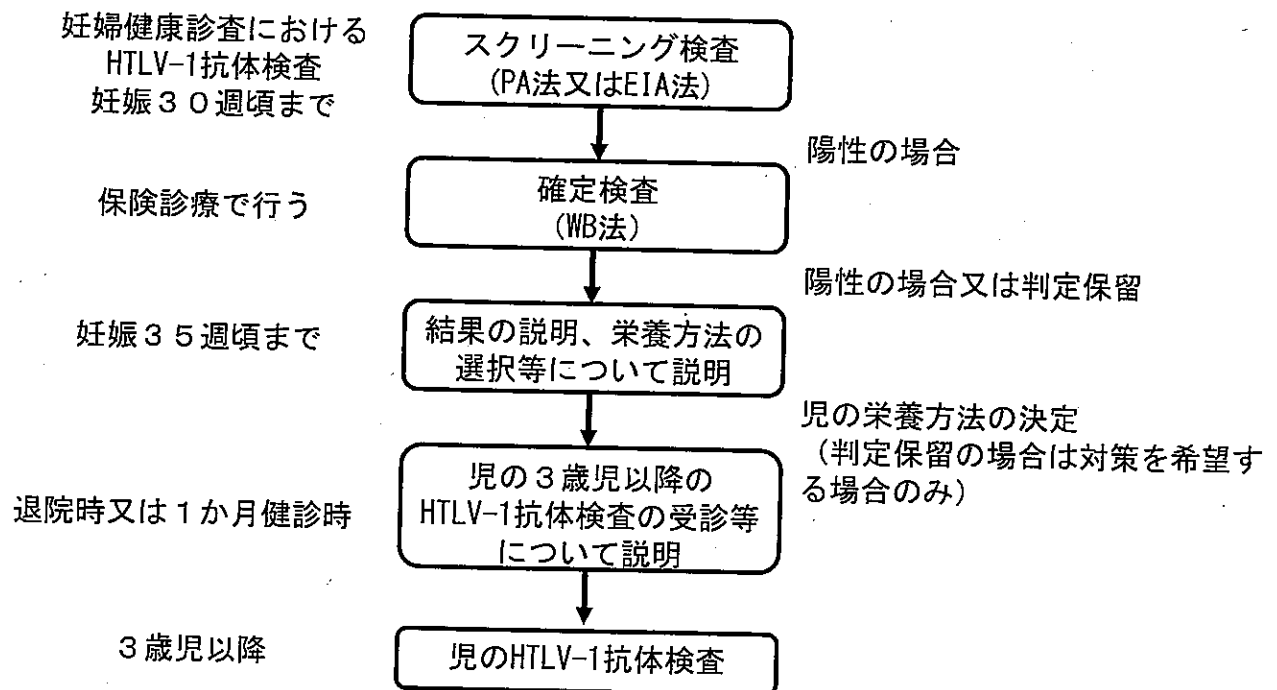
- ①: HTLV-1に感染している可能性は低い  
②: HTLV-1に感染しているか現在のところは不明  
③: HTLV-1に感染している可能性が高い(HTLV-1キャリアとして対応する)

# 妊婦向けポスターの作成・配布について



- 厚生労働省において印刷して、今年度中に全国の自治体等に配布する予定

## HTLV-1母子感染予防保健指導マニュアル(改訂版)について



- 厚生労働科学研究森内班において作成
- 厚生労働省において印刷して、今年度中に全国の自治体等に配布する予定

## 推進体制

国、地方公共団体、医療機関、患者団体等の密接な連携を図り、HTLV-1対策を強力に推進

### ●厚生労働省：

・HTLV-1対策推進協議会の設置

患者、専門家等が参画し、協議会での議論を踏まえて、総合対策を推進

・省内連携体制の確立と、窓口担当者の明確化

### ●都道府県： HTLV-1母子感染対策協議会

●研究班： HTLV-1・ATL・HAMに關連する研究班の総合的な班会議 研究班の連携強化、研究の戦略的推進

## 重点施策

### 1 感染予防対策

- 全国的な妊婦のHTLV-1抗体検査と、保健指導の実施体制の整備
- 保健所におけるHTLV-1抗体検査と、相談指導の実施体制の整備

### 2 相談支援(カウンセリング)

- HTLV-1キャリアやATL・HAM患者に対する相談体制の整備
  - ・相談従事者への研修の実施やマニュアル等の配布
- ※相談体制の構築や手引きの作成等において、患者団体等の協力も得ながら実施

### 3 医療体制の整備

- 検査精度の向上や発症リスクの解明に向け、標準的なHTLV-1ウイルスのPCR検査方法等の研究の推進
- ATL治療に係る医療連携体制等の整備、地域の中核的医療機関を中心としたHAMの診療体制に関する情報提供
- ATL及びHAMの治療法の開発・研究の推進、診療ガイドラインの策定・普及

### 4 普及啓発・情報提供

- 厚生省のホームページの充実等、国民への正しい知識の普及
- 母子感染予防のため、ポスター、母子健康手帳に挟むリーフレット等を配布
- 医療従事者や相談担当者に対して、研修等を通じて正しい知識を普及

### 5 研究開発の推進

- 実態把握、病態解明、診断・治療等の研究を総合的・戦略的に推進
- HTLV-1関連疾患研究領域を設け、研究費を大幅に拡充

# HTLV-1母子感染予防体制

## 厚生労働省

- ・医療従事者向けマニュアル印刷(22年度)
- ・保健指導マニュアルの改訂、印刷(22年度)
- ・母子健康手帳に挟むリーフレット等作成、印刷(22年度)
- ・医療従事者研修の実施(22年度)
- ・HTLV-1母子感染対策事業の実施(23年度～)

補正予算検討中

## 関係学会・団体(産婦人科・小児科医師、助産師等)

- ・日本産婦人科学会、日本産科婦人科医学会のガイドラインの改訂(23年4月発行予定)
- ・国・都道府県の行う研修や普及啓発に参加・協力
- ・会員に対して独自に研修、周知

連携



## 都道府県・都道府県HTLV-1母子感染対策協議会

- ・都道府県内のHTLV-1抗体検査、保健指導・カウンセリング体制の検討
- ・市町村の検査の実施状況のまとめと保健指導・カウンセリングの支援
- ・市町村職員等への研修



連携

## 保健所、女性健康支援センター

- ・授乳に関する指導・助言、不安や悩みのカウンセリング等

## 市区町村(保健センター)

- ・授乳に関する指導・助言、不安や悩みのカウンセリング等

## 産婦人科医療機関

- ・妊婦健診でHTLV-1抗体スクリーニング検査実施、結果説明(22年度10月から公費負担)
- ・妊産婦の健康管理
- ・確定検査実施、結果説明
- ・授乳に関する指導・助言
- ・不安や悩みのカウンセリング等

## 小児科医療機関

- ・児の検査・フォロー
- ・児の健康管理
- ・授乳に関する指導・助言
- ・不安や悩みのカウンセリング等

支援



妊娠中



出産後

支援

